都民割「もっとTokyo」開始 初日完売のホテルも

#東京 #新型コロナ #関東

2022/6/11 2:00

東京都が10日、都民の都内旅行を補助する「もっとTokyo」（都民割）を始めたのに伴い、都内のホテルなどが相次ぎ対応プランを発売した。ワクチンの3回接種などを条件に1人1泊あたり5000円を助成し、18歳までの子どもは補助額を1000円上乗せする。都から配分された割引枠が初日で売り切れるホテルが出るなど、都内の観光需要を呼び起こしている。

ホテルニューオータニ東京（千代田区）は「もっと贅沢（ぜいたく）プラン」を投入した。1万円相当の「館内利用券」を付けたり、通常より長めに滞在できるようにしたりしたのが特徴。2020年の都民割の実施時と異なり、国の喚起策「Go Toトラベル」が併用できないことから特典を充実させた。

ホテル椿山荘東京（文京区）では、予約が取りづらい同ホテルのアフタヌーンティーのメニューを客室に届けるメニューを都民割の対象にした。担当者は「東京で非日常を味わってほしい」としている。西武・プリンスホテルズワールドワイド（豊島区）も「ホテルクレジット」を5000円付加するプランを7ホテルで用意し、施設内の飲食や水族館・ボウリングなどでの利用を想定する。

都民割の実施期間は7月31日まで。日本旅行の予約サイトには10日午後、アクセスが集中し、つながりにくい状態になった。都が補助するのは25万泊分で、なくなり次第終了となる。都から配分された割引枠が即日完売したビジネスホテルもあった。

小池百合子都知事は10日の記者会見で、「ワクチン接種と都内観光の両面の促進が目的。感染状況が収まり、より自由に動けるような環境にまでもっていけるよう、（都民割の）期間を生かしてほしい」と語った。

一方、都と東京観光財団は都民割の再開に合わせ、島しょ部で使えるプレミアム付き商品券「しまぽ通貨」を発売した。商品券は1セット1万円分相当で販売価格は7000円で、都民割を提供する島内の宿泊施設などでは同制度との併用もできる。島しょ地域の旅行者誘致に役立てる。